

基本設計におけるイメージ



西側外観



市民ひろば

「やわたテラス」デザインワークショップを開催しました



ありがとうございました

今回のワークショップには、市民の皆様、市内外で店舗を営んでいる方々の他に、将来の「やわたテラス」の管理運営を担う市職員も参加させて頂きました。基本設計をもとに、空間の設えやそこで繰り広げられる活動やイベントなどに関する多様なご意見やアイデアをいただくことができ、実現可能な「やわたテラス」の姿を垣間見ることができたように感じます。

これから新庁舎の実施設計と建設がスタートする予定ですが、関係者間の対話を積み重ねて、「やわたテラス」を中心とした八幡市庁舎全体の整備を進めて参ります。

ご参加いただいた皆様

八幡市商工会、NPO 法人八幡まちづくり協会、
だんだんテラスの会、カーブスファミリやわた店、
コナミスポーツクラブ、世界はテマン、
デザートカフェ『Gorille (ゴリール)』、
関西大学、大阪芸術大学、公募市民、
八幡市役所職員



参加頂いた皆様と記念撮影

「やわたテラス」実現に向けて

基本設計が完了し、器としての「やわたテラス」（市民ひろば、防災ひろば、市民協働ひろば、及び文化センター）のカタチが見えはじめてきています。八幡市の活性化の核となり得る「やわたテラス」の実現には、市民の交流と活動を育むための施設整備（ハード面）は極めて重要です。

しかしそれだけではなく、「やわたテラス」が市民に永く親しまれ、利用され続けるようにするためには、行政の力に加えて、市民の力や企業の力を活用した施設の積極的な運用と適切な維持管理（ソフト面）が必要不可欠となります。

こうしたハード面とソフト面を充実させることによって、市民協働社会を推進する魅力ある「やわたテラス」の創出が可能となるのです。

基本設計完了後の初めての市民ワークショップとして、「やわたテラス」のデザインをめぐるワークショップを2019年10月5日（土）に八幡市文化センター展示室にて開催しました。

現在日本各地で進んでいる市庁舎の建て替えにおいても、広場のデザインが大きなテーマとなっています。街の未来は、市民・企業・行政が力を合わせることで拓かれるものですが、そのような協働を支える広場の重要性がクローズアップされています。

八幡市でも「市民ひろば」、「防災ひろば」（仮称）、「市民協働ひろば」、「文化センター」を含む広大な空間を「やわたテラス」と呼び、多くの市民が集い、交流する場として整備します。

今回は、基本設計案を土台に、実際の活用を見据えたワークショップが行われ、ハードな施設の整備にとどまらず、ソフトな活動内容に踏み込んだ議論が繰り広げられました。

ワークショップには、市職員、継続してご参加頂いている市民や市内外の事業者、若い世代の大学生の皆様など、幅広いジャンルと年齢層の合計32名の皆様に参加されました。

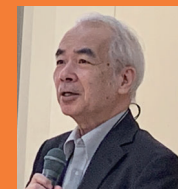
以下の2つのテーマについてワークショップを行いました。

グループワーク1 基本設計案について語ろう

グループワーク2 やわたテラスをつくろう

メインファシリテーター 門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長
京都大学名誉教授
八幡市新庁舎整備アドバイザー
プロポーザル評価委員会 委員長



ニュースレターについての
問い合わせ先

八幡市役所 総務部 総務課 庁舎整備担当まで
TEL : 075-983-2932

共催：株式会社 山下設計 関西支社



ひろば全景イメージ（基本設計）

ワークショップの流れ

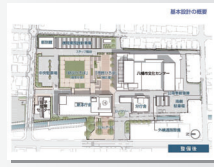
事業概要の説明

八幡市総務課から、これまでの経緯や基本方針、今後のスケジュールなどを説明しました



基本設計概要の説明

山下設計から「やわたテラス」を中心に基本設計の概要を説明しました



グループワーク1 基本設計案について語ろう

基本設計のやわたテラス、ひろばについて感じたことを挙げてもらいました。

- 広場の広さについて
- 大階段について
- やわたテラスの緑について

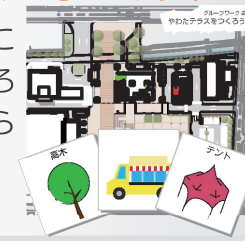
参考事例の紹介

ひろばの使い方や設えなど様々な参考事例を紹介しました。



グループワーク2 やわたテラスをつくろう

各グループごとに魅力的なひろばをつくってもらいました。



まとめ

門内教授から今回のWSを総括してもらいました

6つのグループに分かれ、様々なご意見をだして発表してもらいました！



グループ①

- 誰もが歩けるウォーキングロード
- 車を防災ひろばに行けるように
- カフェ、コンビニは新庁舎で

・市民ひろばを舞台にした客席利用
・玩具や健康器具を置いてみては
・誰が管理するの？



グループ②

- 影になる場所をつくる
- ベンチを多めに作りたい
- 広い芝生が良い

・スロープを設置して欲しい
・広場は何も置かない方が便利では？
・季節を感じる植栽、畑もいいのでは



グループ③

- 原っぱのような芝生がいい
- 防災勉強室・展示を新庁舎で
- ひろばには仮設のベンチやテントを

・小さな居場所を、安心感
・大階段の作り方が気になる
・飲食店がないと人が来ないのでは？



グループ④

- 防災ひろばには屋根をかけて欲しい
- 芝生の丘、遊べる場所を
- 多目的スペースにはカフェを

・子どもが安心して遊べる空間に
・照明デザイン、ライトアップも
・半屋外空間をつくってほしい



グループ⑤

- 電気、ガス、水道の設備を
- 防災ひろばには目的をつくる
- ボルダリング！

・大階段にも屋根があると良い
・夜も使える多目的室に
・学生目線も 食べる場、しゃべる場



グループ⑥

- 日差しを避ける木陰や屋根を
- シンボルツリーを
- カフェ + 書籍で憩える空間を

・大階段に本当に座るの？
・日影になる仕掛けがほしい
・日常的に利用できる公園として良い

主なご意見

非常に多くのご意見を頂きました。その中でも特に多かった意見やおもしろい意見をピックアップしてみます。

多かったご意見

- 芝生ひろばが良い
- 日差しを避ける屋根や木陰をつくる工夫を
- 大階段だけではなくスロープも
- イベントに対応できる設備を常設
- 人が日常的に来れるカフェやコンビニなど
- 子どもが遊べる場所に

ユニークなご意見

- 八幡市で広場づくり課をつくっては？
- ボルダリング！（2つのグループで）
- 滑り台（3つのグループで）
- 健康に関わるひろばづくり
- 地下スペースの活用を
- 各広場の名前をもっと親しまれる名前に

まとめ

今回のワークショップは、「やわたテラス」を活用する市民の皆様はむろんのこと、その運用の担い手になる方々にも参加していただきたいと考え、色々な組織や団体にお声がけをすると共に、自由に参加していただける形にしました。その結果、市民の皆様、市職員や八幡市に関心を抱く大学生などから多くの新鮮なご意見をいただきました。得られた様々なアイデアは、「やわたテラス」づくりに反映していきたいと思っております。

ワークショップは出会いの場です。こうした八幡市新庁舎づくりの市民ワークショップを契機として、市民の間にコミュニケーションの輪が広がり、その中から「やわたテラス」の運用や管理の担い手が育っていくことを期待しています。

